

令和7年度 児童アンケートの結果

項目	とてもそう思う (%)	そう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	肯定率 (とても+そう思う)
学校や学級は楽しい	58.2	34.2	6.3	1.3	92.4
あいさつ	35.2	41.3	20.7	2.9	76.4
授業はわかりやすい	43.7	44.5	10.1	1.7	88.2
思いやり	63.3	33.5	3	0.2	96.8
きまりを守る	35.4	51.1	12.2	1.3	86.5
ふわふわことば	43.7	45.1	10.3	1	88.8
家庭学習	64.3	25.3	8.9	1.5	89.6
早寝早起き朝ごはん	40.3	38.4	17.3	4	78.7
話を最後まで聞く	43.2	49.4	6.7	0.8	92.6
給食	49.8	32.1	15.2	2.9	81.9
いかのおすし	78.5	17.9	1.9	1.7	96.4
自分のことが好き	45.4	28.9	17.7	8	74.3
時間割準備	43.3	41.8	12.7	2.1	85.1
将来の夢	66	22.2	8.4	3.4	88.2
古蔵小が通いたい学校	62.5	30.6	5.1	1.7	93.2

1. 全体傾向の分析

① 全体として非常に肯定的な回答が多い

12項目で肯定率 (とても+そう思う) が **81%~97%** と高く、子どもたちが学校生活に前向きに取り組んでいる姿がうかがえる。

特に肯定率が高い項目は：

- 思いやり (96.8%)
- いかのおすし (96.4%)
- 古蔵小が通いたい学校 (93.2%)
- 話を最後まで聞く (92.6%)
- 学校や学級は楽しい (92.4%)

学校文化・安全教育・学級経営の成果がしっかり表れている。

② 肯定率が比較的低い項目 (改善の余地)

- 自分のことが好き (74.3%)
- あいさつ (76.4%)
- 早寝早起き朝ごはん (78.7%)

これらは、学校だけでなく家庭・地域との連携が必要な領域でもあり、今後の重点課題となりそうである。

③ 学習面の項目は概ね良好

- 授業のわかりやすさ (88.2%)
- 家庭学習 (89.6%)
- 時間割準備 (85.1%)

学習習慣や授業改善の取り組みが成果として表れている。

④ 生活・人間関係の項目も安定して高い

- 思いやり (96.8%)
- ふわふわことば (88.8%)
- 給食 (81.9%)

日常の指導や学級経営の積み重ねが、子どもたちの行動に反映されている。

2. 考察

全体として肯定率が高く、特に「思いやり」「安全指導」「学校満足度」の3領域は本校の強みであることがわかる。学級経営の安定や、日常の生活指導の積み重ねが子どもたちの行動に反映されている。学習面では「授業のわかりやすさ」「家庭学習」「時間割準備」などが高く、授業改善・宿題の工夫・学習習慣づくりの取り組みが成果として表れている。一方で、「自尊感情 (自分のことが好き)」「あいさつ」「生活リズム」は他項目に比べて肯定率が低く、重点的に取り組む必要がある。特に自尊感情は学年差が出やすい領域であり、学級経営・道徳・特別活動との連動が求められる。今後は、強みを生かしつつ、課題領域を学校全体で共有し、学年・学級での具体的な手立てを検討していく必要